



第12回気候変動適応東北広域協議会  
令和6年8月1日

## 福島県気候変動適応センターの取組について

福島県気候変動適応センター

Local Climate Change Adaptation Center in Fukushima

## はじめに

- 昨年度は記録的な高温が続き、福島県内では8月に過去最高気温を記録、熱中症搬送者数の増加やコメの1等米比率の低下、果樹の収穫期が早まるなどの影響
- 今後、温室効果ガスの削減努力がなされなければ、本県の平均気温は、2100年期には基準年と比較して約4.4℃上昇と予測
- 気温上昇による様々な影響は県民の暮らしにも直結する喫緊の課題、温室効果ガス排出量削減と合わせて避けられない気候変動への影響を回避・低減するための取組の推進が必要



2021年 2月 「福島県2050年カーボンニュートラル」を宣言  
 2021年12月 「福島県地球温暖化対策推進計画」の改定  
 2022年 5月 「福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ」の公表

将来を担う子どもたちを始め、全ての県民にとって大切な福島の未来を明るくものとするため、2050年カーボンニュートラル実現に向けてオール福島での取組を更に推進していく必要がある。

県全体の新たな推進母体として、

**2023年6月1日、ふくしまカーボンニュートラル実現会議（代表：知事）を設立**



219団体  
 学識経験者5名が参加  
 ※令和6年7月現在

# はじめに

- 県の行政運営上の最上位計画である福島県総合計画において、地球温暖化対策は「横断的に対応すべき課題」に位置づけ
- 温室効果ガスの排出抑制「緩和策」と気候変動への適応「適応策」を両輪として施策を推進

## 温室効果ガス排出抑制（緩和策）

### 県民総ぐるみの省エネルギー対策の徹底



個人・事業者向け省エネ設備・EV導入等補助 環境イベント開催・優秀な取組への表彰

### 再生可能エネルギーの最大限の活用



自家消費型再エネ設備の導入支援、実証研究支援 水素ステーション、燃料電池車の導入促進

### 二酸化炭素の吸収源対策の推進



森林整備の推進 林業就労者の人材育成 県産木材使用の推進



### 県有施設の取組



太陽光発電設備の導入 新築庁舎のZEB化 公用車の電動化

### 気候変動の影響予測



県内の気候変動と影響の予測 地域気候変動適応センターの設置

### 気候変動への対応

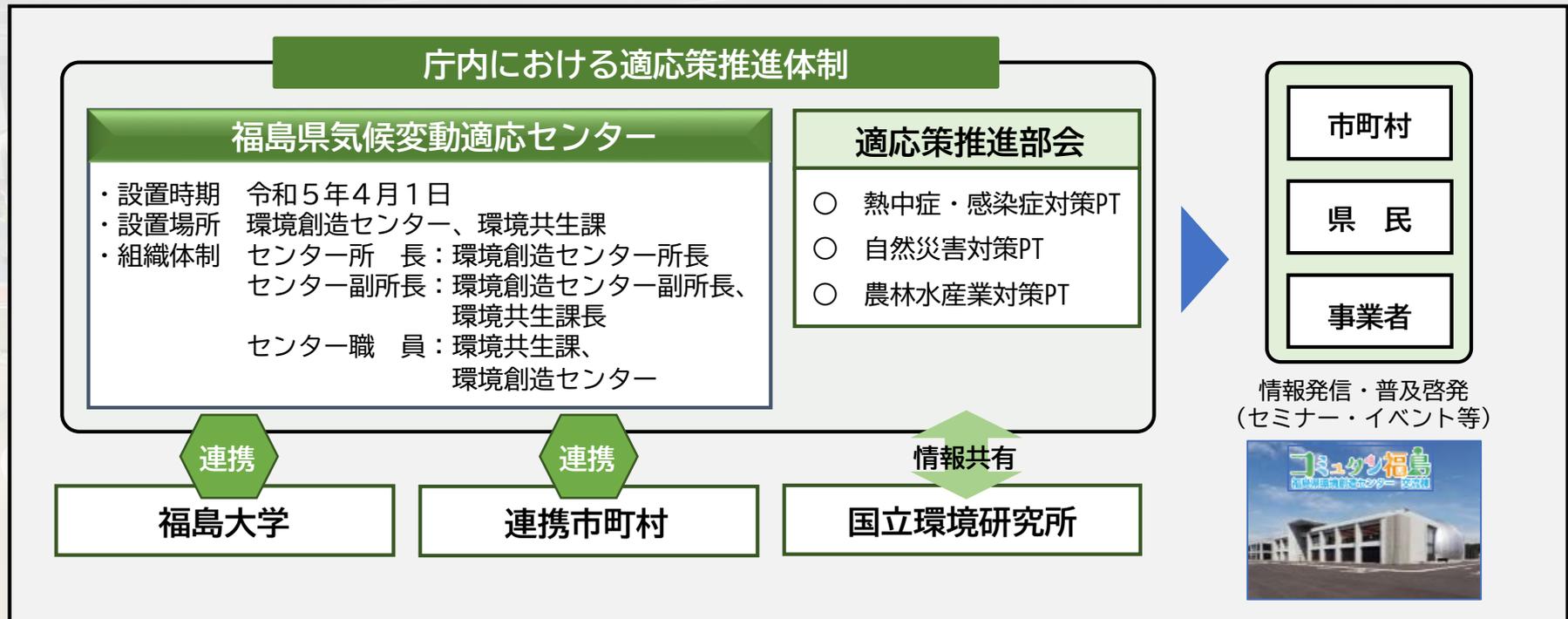


高温耐性の品種の開発 流域治水対策の推進 防災意識の啓発 イベントでの情報発信

## 気候変動への適応（適応策）

# 適応策の推進体制（地域気候変動適応センターの設置）

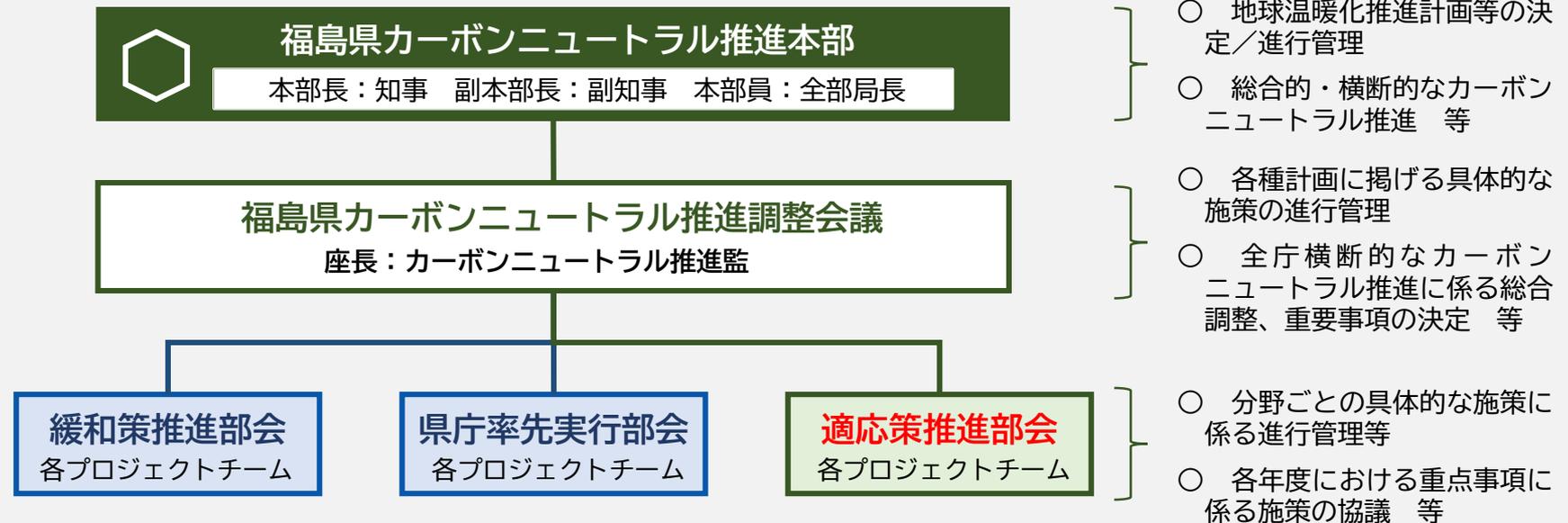
- 気候変動影響及び適応7分野に関する情報の収集、分析及び提供等を行うため、気候変動適応法に規定する地域気候変動適応センター（福島県気候変動適応センター）を令和5年4月1日付けで環境創造センター及び環境共生課に設置
- 環境創造センターは、国の気候変動適応センターを担う、**国立環境研究所**の福島拠点が入所し、また、本県の**環境の情報発信拠点**としての交流棟「**コミュニティ福島**」を有しており、国環研を通じた効率的な情報の収集及びコミュニティ福島による効果的・効率的な情報の発信等を実施



## 適応策の推進体制（庁内体制の整備）

- 知事を本部長とする「福島県カーボンニュートラル推進本部」を設置
- 地球温暖化対策の2つの柱、「緩和策」と「適応策」を両輪に総合的かつ横断的に施策を推進
- 施策全体の進捗管理や総合調整は、「福島県カーボンニュートラル推進調整会議」により実施
- 具体的な施策の協議は「緩和策推進部会」、「適応策推進部会」及び「県庁率先実行部会」、並びにその下部に重点事項を協議する「プロジェクトチーム（PT）」により実施

### 【福島県2050年カーボンニュートラル実現に向けた推進体制】



# 適応策の推進体制（庁内体制の整備）

- 各部会の構成員及び部会長は、調整会議構成員が推薦、議長が指名
- 重要事項ごとにプロジェクトチーム（PT）を設置して、課題解決に向けた連携可能性や取組の進捗状況等について関係課室で情報共有・協議
- 部会やPTに合わせて、福島大学や国立環境研究所気候変動適応センターなどの有識者を講師に招いたセミナーを開催、状況に応じて市町村等も参加可能



## 適応策の推進体制（地元大学との連携）

- 令和5年3月に福島県と福島大学の間で、「2050年カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」を締結
- 県内企業とも連携した再エネ・水素関連の実用研究や、気候変動適応に関する人材育成、普及啓発等において連携した取組を実施
- 気候変動と影響に関する共同調査などのほか、各種講演や大学講義における講師の相互派遣、県主催イベント等への出展などを実施



### 【福島大学との連携による適応策に関連した主な取組】

#### ① 研究

- 福島県の気候変動と影響の予測に関する庁内勉強会での講演
- 環境省「国民参加による気候変動情報収集・分析委託業務」の連携実施



#### ② 人材育成

- 県職員による気候変動対策の学生向け講義の実施
- 県主催の研修会におけるファシリテーターとしての協力及び学生の参画



#### ③ 普及啓発

- 県主催の地球温暖化対策機運醸成イベントやシンポジウムにおけるブース出展、学生の協力、パネリストとしての参画



#### ④ 産学官連携

- 気候変動適応策に関する庁内会議、気候変動適応センター運営に関する会議への参加
- ふくしまカーボンニュートラル実現会議への参画

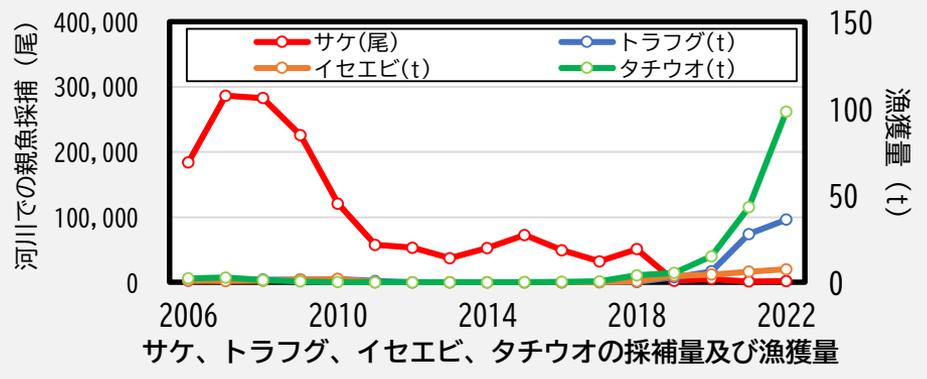
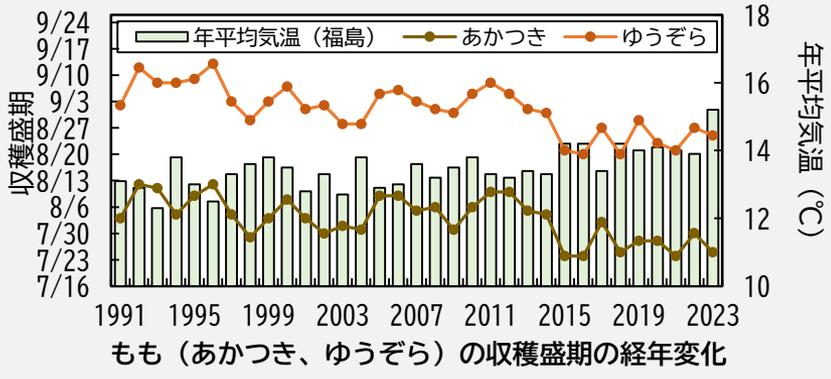
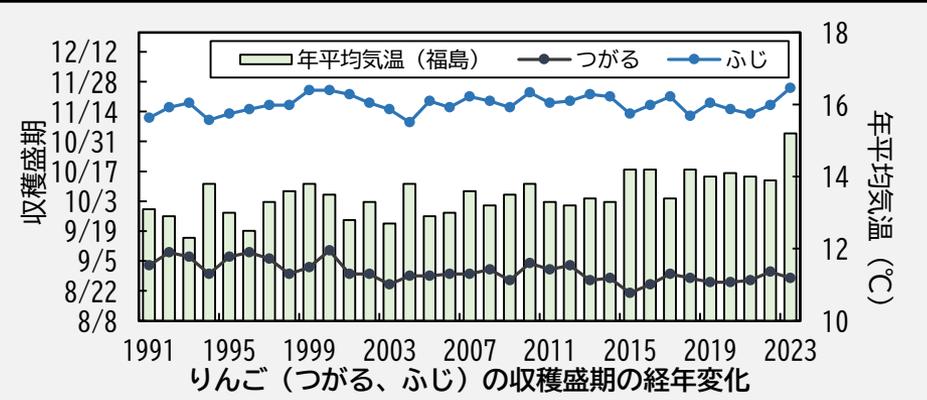
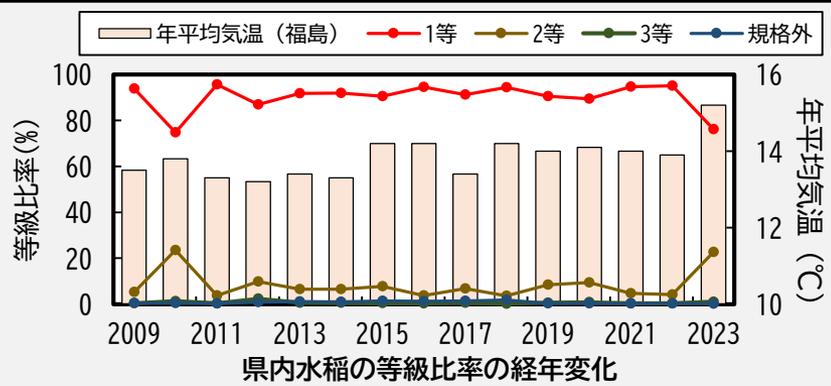






# 適応策に関する取組（令和5年度国民参加による気候変動収集・分析委託事業）

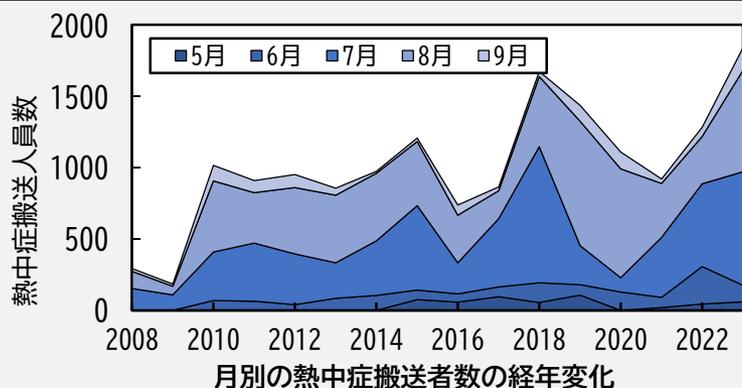
- 水稲においては、収穫期が早まり、1等米の収穫割合が減少した結果となった。
- 果樹においては、「もも」や「なし」の収穫期が早まり、また、「りんご」では高温等による着色不良や蜜入りの低下、日焼けの発生がみられた結果となった。
- 水産業においては、サケの採捕量が減少する一方、今まで漁獲量が少なかったタチウオやトラフグなどの漁獲量が増加していることが確認された。



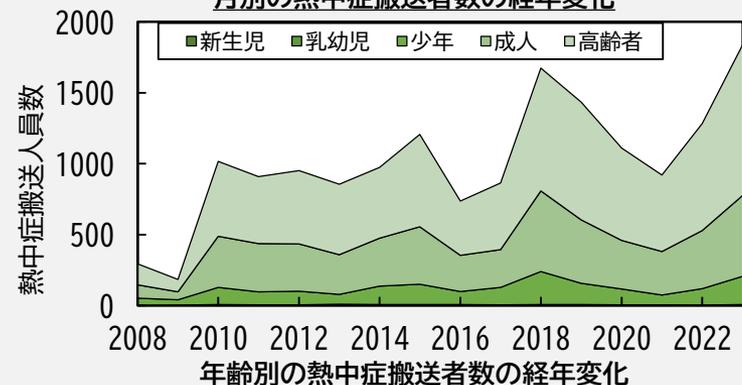


# 適応策に関する取組（令和5年度国民参加による気候変動収集・分析委託事業）

- 令和5年は伊達市梁川で観測史上最高となる40.0℃の最高気温を観測し、熱中症アラートの発表回数は19回を数えたほか、5月から9月の熱中症搬送者数は1,840人であり観測開始以来過去最多を記録した。
- 大学生を対象としたワークショップでは、気候変動の影響として、気温上昇に伴う健康リスクや災害リスクの上昇、生態系や農作物への影響が意見としてあげられた。



月別の熱中症搬送者数の経年変化



年齢別の熱中症搬送者数の経年変化

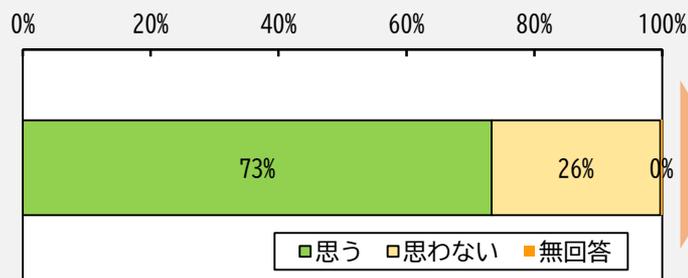
項目	原因・影響（予測）	対策
①気温の上昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>■外出機会が減り、運動不足に</li> <li>■動物の生態系や農作物への影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■温暖化を防ぐ取組                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業・施設の屋上の緑化、苗木の配布</li> <li>・地球温暖化に対する広報（SNSの活用）</li> </ul> </li> </ul>
②自然災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>■極端な降雨による災害リスクの増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■堤防の整備、ダム建設などの対策</li> <li>■加えて、流域関係者の協働による水災害対策</li> </ul>
③食料	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農林水産物の収量低下、品質低下</li> <li>■食品ロスの発生がCO2増加につながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地産地消の推進、食品の適切な購入</li> <li>■食品ロス削減（傷物食品の利用）</li> </ul>
④健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>■熱中症リスクや食中毒リスクの増加</li> <li>■異常気象による水不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■熱中症対策（身体の冷却、水分補給）</li> <li>■食品ロスの削減</li> <li>■節水の実施</li> </ul>

大学生ワークショップでの意見



# 適応策に関する取組（令和5年度国民参加による気候変動収集・分析委託事業）

- 令和5年9月に発生した線状降水帯により、いわき市を始めとする浜通りを中心に豪雨被害が生じた。特に被害の大きかったいわき市新川や宮川の浸水深マップを作成した。
- 令和5年度に実施したアンケートでは、県民の多くが居住地において災害発生の可能性があると感じており、また、防災への取組としては、防災グッズの準備、避難場所やハザードマップの確認を行う県民が多いことが分かった。



自分の居住地で災害が発生するかのアンケート結果

## 災害が発生すると思う理由（主な意見）

- 近くに川や海、山がある
- 異常気象が増えた
- 雨量と処理機能があっていない
- 過去に災害が発生した
- 地球温暖化
- 全国的に水害が増えてきている
- 防災の準備が整っていない、川の整備不足
- ハザードマップに含まれる
- 田畑が少ない

## 災害が発生しないと思う理由（主な意見）

- 近くに川がない、立地が高い場所、地盤も固いため
- ハザードマップに入っていない(洪水)
- 避難所の近くに住んでいるから
- 災害が起きたことがないから
- 洪水対策されているから



いわき市における浸水深マップ

# 適応策に関する取組（令和6年度地方公共団体における効果的な熱中症対策の推進に係るモデル事業）

- 熱中症対策の取組として、猛暑時に県民が暑さをしのぐために、一時的に休憩できる公共施設や商業施設等を「ふくしま涼み処」として県内に設置。

## 概要

- 設置期間は、**令和6年6月1日～当面9月まで**
- 冷房設備や椅子などがあり、利用者の制限がなく誰でも一定時間利用できる施設が対象。
- 県や市町村の公共施設（図書館や博物館）のほか、商業施設（スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストア、郵便局等）が登録。
- 令和6年7月29日現在で、**1,298施設**が登録。
- 県内全ての市町村に「ふくしま涼み処」を設置。
- ※ 登録施設の一覧は、以下のホームページから確認可

### <詳細はこちら>

「熱中症対策（ふくしま涼み処）」

<https://www.fukushima-kankyosozou.jp/lccac/kenkou/heatillness.html>



## 掲示物



上記のポスターやのぼりを掲示している施設は「ふくしま涼み処」として利用可能。

# 適応策に関する取組（令和6年度地方公共団体における効果的な熱中症対策の推進に係るモデル事業）

- 県民向けに「ふくしま涼み処」の活用を含めた熱中症対策の啓発のためのイベントを実施。

## 熱中症予防啓発 県内4市一斉声かけイベント

### 【概要】

暑さが本格化する前の6月上旬に、県内4市と合同で、県民に啓発資材を配布し、熱中症対策の呼びかけを実施した。

### 【開催日時】

令和6年6月8日（土）

### 【開催場所】

<福島市> ダイユーエイトMAX福島店  
 <郡山市> ヨークベニマル横塚店  
 <会津若松市> リオン・ドール会津アピオ店  
 <いわき市> イオンモールいわき小名浜



<福島市>



<郡山市>



<会津若松市>



<いわき市>

## 暑さに負けない！ ふくしま熱中症対策トークイベント

### 【概要】

熱中症対策を広く県民に周知啓発するため、知事出席のもと、気象予報士、救急救命士、大塚製薬(株)、(株)ファミリーマートによるトークセッションや熱中症対策に関する講演を実施した。

### 【開催日時・場所】

令和6年6月19日（水）

コラッセふくしま 4階 多目的ホール

### 【当日会場参加者数】

117名（その他、オンライン参加）





# 適応策に関する取組（熱中症対策出前講座）

■ 熱中症予防の指標である暑さ指数（WBGT）について理解を深め、学校生活等における熱中症予防対策を促すため、小・中学校を対象に熱中症対策出前講座を実施。

## 概要

### 【実施校】

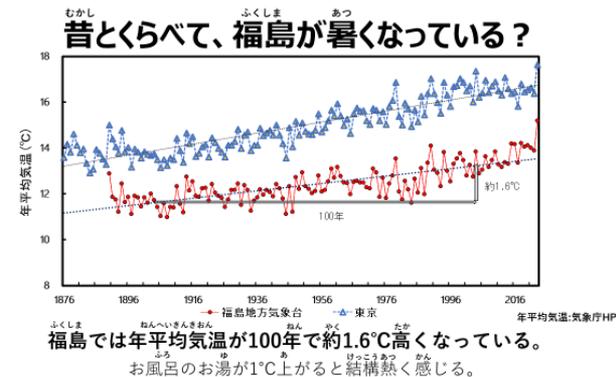
- 県立会津学鳳中学校 中学2年生3クラス
- 福島大学附属小学校 小学6年生3クラス
- いわき市立長倉小学校 小学5, 6年生各1クラス

### 【内容】

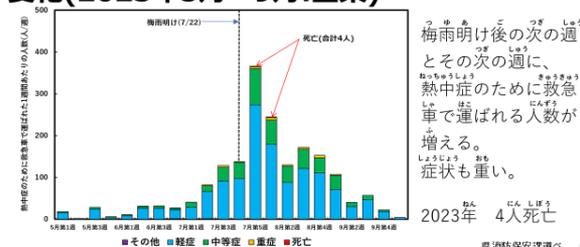
- 講義  
県気候変動適応センター（環境創造センター）職員が県内の気候変動の現状やWBGTの意味などについて説明を行った。
- 学校内のWBGTの測定  
児童・生徒が班ごとに分かれ、校内の各地点（日なたの校庭、木かげ、日かげなど）でWBGTを測定し、涼める場所を探した。また、日なたの校庭では、日傘や帽子で日射を遮りWBGTを測定することで、熱中症予防のための日傘や帽子の効果を体感する実験を行った。

## 講義資料

- 地域のデータを用い、身近な問題として感じてもらおうことが目的。



### 熱中症のために救急車で運ばれた人数の週ごとの変化(2023年5月~9月:全県)





## 適応策に関する取組（熱中症対策出前講座）



※福島テレビHPより引用 (<https://www.fukushima-tv.co.jp/localnews/2024/07/2024070500000014.html>)

【ニュース映像URL】

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/fukushima/20240528/6050026314.html>

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tuf/1195720?display=1>

<https://www.fukushima-tv.co.jp/localnews/2024/07/2024070500000014.html>

<https://news.ntv.co.jp/category/society/fce2046d244f364caba6a7dce4d57e9dbb>

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/fukushima/20240705/6050026688.html>

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tuf/1277365?display=1>